

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療広域連合負担金交付事業												
測定年度	2021(R3)年度				部	市民生活部			課	後期高齢者医療課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務	
事業期間	2008(H20)年度				年度	~				年度まで			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、大阪府後期高齢者医療広域連合規約												
関係補助金名称							サンセット						
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		大阪府後期高齢者医療広域連合										
	サブターゲット		75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)										
	ターゲットが抱える課題		将来にわたり増加し続ける被保険者に対し円滑な事務事業の遂行と継続										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市町村負担金の交付が適切に行われている												
事業概要	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、都道府県に設置の「大阪府後期高齢者医療広域連合」に対して、運営等に係る人件費や事務費を含む運営経費について、市町村負担金を交付する。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明														
	単位					単位					単位				
	指標種類														
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標(見込み)実績													
	達成度														
	分析														

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	802	798	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	802	798	786		
	物件費計	10,263,143	10,648,619	10,942,668	11,080,917	99%
	歳出計	10,263,945	10,649,417	10,943,454		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	5,116,958	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	908,736	6,659,627	6,810,095	6,850,541	
	歳入計	6,025,694	6,659,627	6,810,095	6,850,541	
	一般財源	4,238,251	3,988,992	4,132,573	4,230,376	

5. 総括的分析

総括的分析 後期高齢者医療制度の運営のために、広域連合負担金を交付した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	制度に則り、適正に事務を遂行する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	市民生活部			課	後期高齢者医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業		
事業期間	2008(H20)年度		年度	~	年度まで			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者の医療の確保に関する法律施行令、高齢者の医療の確保に関する法律施行規則							
関係補助金名称							サンセット	-
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)は後期高齢者医療制度の対象となる						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	適正な被保険者証の引渡し、各種申請や届出の受付等ができています。							
事業概要	<p>大阪府下の全市町村が加入する「大阪府後期高齢者医療広域連合」が主体となり、市町村と分担して事務を処理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連合:被保険者の資格管理、被保険者証の交付、医療等の給付等 ・枚方市:各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡し等 <p>本市被保険者数:55,088人(2020年3月末現在)</p>							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	窓口運営が円滑に行える。				インプット(活動)	被保険者証の引渡しや各種申請等の受付を適切に行う。			
	指標説明					アウトカム(活動効果)	窓口平均待ち時間(繁忙期含む)				インプット(活動)	各種申請等、窓口での受付件数			
指標設定	指標種類	単位				単位				単位					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					10	10	10	10	21,200	22,500	23,900	25,400		
	実績					9	6			17,724	16,861				
	達成度					140%									
分析					7月繁忙期の待ち時間は平均14分であったが、年平均は目標より待ち時間を短くすることができた。				令和3年度は7月の繁忙期に新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が発令されていたため、窓口件数が減少した。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	3.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.70
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	25,654	27,514	26,321		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,840	5,550	4,414		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	28,494	33,064	30,735		
	物件費計	56,530	56,116	57,142	63,428	90%
	歳出計	85,024	89,180	87,877		
歳入	国庫支出金	0	992	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	54,885	57,142	63,428	
	歳入計	0	55,877	57,142	63,428	
	一般財源	85,024	239	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置の影響により、窓口件数が減少し、目標より窓口待ち時間を短くすることができた。今後も引き続き、窓口業務マニュアルの充実を図り、窓口受付を円滑に運営する。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和4年度以降、団塊世代が被保険者となり始め、被保険者が急増し、窓口受付が増えることが予想される。丁寧かつ迅速な窓口サービスを行うとともに、窓口を訪れなくても申請できる手法の提供などを検討し、窓口における待ち時間の縮減に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療特別会計繰出金事務												
測定年度	2021(R3)年度				部	市民生活部			課	後期高齢者医療課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務	
事業期間	2008(H20)年度				年度	~		年度まで					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		将来にわたり増加し続ける被保険者に対し円滑な事務事業の遂行と継続										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	一般会計からの繰出金が後期高齢者医療特別会計へ適切に支出されている。												
事業概要	後期高齢者医療特別会計に一般会計から繰出金を支出する。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	401	399	393		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	401	399	393		
	物件費計	1,058,379	1,158,761	1,183,171	1,194,960	99%
	歳出計	1,058,780	1,159,160	1,183,564		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	681,552	754,043	773,032	773,032	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	681,552	754,043	773,032	773,032	
	一般財源	377,228	404,718	410,139	421,928	

5. 総括的分析

総括的分析	後期高齢者医療特別会計は、2008年度から施行の「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき事務事業を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	制度に則り、適正に事務を遂行していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療保険料徴収事務										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	市民生活部			課	後期高齢者医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2020 (R2) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者の医療の確保に関する法律施行令、高齢者の医療の確保に関する法律施行規則				
関係補助金名称					サンゼット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	全被保険者に賦課される保険料の徴収における適正性及び公平性の確保			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	全被保険者に賦課される保険料を適正に徴収することで、公平性が確保されている。				
事業概要	広域連合が賦課決定した後期高齢者医療保険料について、徴収に係る事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					保険料の滞納が減少し収納率が向上する。				年齢到達直後など普通徴収の被保険者に口座振替の利用を勧奨する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				保険料収納率 【算出式: 収納額 / 賦課額 × 100】				普通徴収における口座加入率 【算出式: 口座振替対象者数 / 普通徴収対象被保険者数 × 100】			
	単位				単位				単位			
	%				%				%			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)					99.52	99.54	99.56	99.58	75	75.50	76	76.50
実績					99.65	99.65			79.47	78.80		
達成度					100%				104%			
分析					督促状及び催告書の発送や短期被保険者証予告通知、債権移管予告通知の発送により、収納率は前年度と同率となった。				年齢到達の被保険者証送付時に口座振替勧奨通知を同封するなど勧奨に努め、目標は達成できたが、全体の加入率は下がった。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	3.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	28,710	25,142		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	2,235	2,589		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	30,945	27,731		
	物件費計	—	15,826	19,460	34,568	56%
	歳出計	—	46,771	47,191		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	8,399	21,069	23,568	
	歳入計	—	8,399	21,069	23,568	
	一般財源	—	7,427	▲ 1,609	11,000	

5. 総括的分析

総括的分析	口座振替の推進、電話催告の実施及び債権回収課への債権移管等により、収納率は昨年度と同率となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	滞納を発生させない予防的取り組みとして、口座振替の利用勧奨を行うとともに、初期滞納者への電話催告を実施するなど納付促進に努める。また、納付が困難な方には、分納相談を通じて納付勧奨を行う。さらに、支払催告に対して支払に応じない滞納者については、債権回収課へ随時債権を移管する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	市民生活部			課	後期高齢者医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務			
事業期間	不明			年度	~	年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット	-			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		後期高齢者医療課に在籍する職員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われる										
事業概要	課の運営事務										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)														
	実績														
	達成度														
分析															

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.73
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	10,214		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	1,712		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	11,926		
	物件費計	-	-	0		-
	歳出計	-	-	11,926		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	0	
	一般財源	-	-	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 課運営における行政事務及び庶務事務を円滑かつ適正に執行した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	課運営における行政事務及び庶務事務を円滑かつ適正に執行する。